

官民連携で製品化

避難所用の段ボールベッド・パーテーション ～河内長野市と㈱大阪ケース製作所の共同開発～

河内長野市は、㈱大阪ケース製作所（代表取締役前田高延、河内長野市高向94番地）との共同で、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した避難所用の段ボールベッド・パーテーションを開発しました。

この製品は、長期間、避難所生活を強いられる方の心と身体の負担を軽減し、プライバシーの配慮、ソーシャルディスタンスや床面からのウイルス巻き上げ対策など、配慮や感染対策が必要とされる避難所への設備として活用するものです。

1. 経緯

市内で段ボールケースを製造販売する㈱大阪ケース製作所は、令和2年6月、市立小中学校に、同社オリジナル製品である飛沫防止パーテーションを寄贈しました。

その後、同社は、新型コロナウイルス感染症対策の関連製品として、段ボールベッドやパーテーションの開発・製作の検討を進め、長期の避難生活で必要とされる仕様について本市に意見を求めたことをきっかけに、官民連携で商品開発を開始しました。

2. 製品特徴

段ボールベッドは、引き出し式の収納があり、分割式にすることでパーツの交換が可能となっており、パーツ単体で机や椅子として使用できる強度があるものとなっています。

パーテーションは、家族での共同生活に配慮した広さ（9㎡及び4㎡）、プライバシーと防犯、見回りのしやすさに配慮した高さ（150cm）を確保しています。

3. 今後の活用

本市では、8月31日、段ボールベッド200床、パーテーション9㎡100セット、4㎡150セットを購入します。9月6日には、川上小学校区地域まちづくり協議会により、製品を用いた避難所運営訓練を住民主体で実施する予定です。

【問い合わせ】河内長野市 危機管理課

電話：0721-53-1111